

PAT工法の水平耐力に関する各種試験



鋼管の建込み



引抜き試験



水平載荷試験



水平載荷試験



曲げ耐力試験



曲げ耐力試験

赤井商工株式会社

〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-10-1
パシフィックマークス青葉台7F
TEL: 03-3464-8761
E-mail: akaisyoukou@yahoo.co.jp

プラン・ドゥ・ソイル株式会社

〒130-0026 東京都墨田区両国2-1-7-201
TEL・FAX: 03-3635-1390
E-mail: pdsikku@tree.odn.ne.jp

PAT工法 一般鋼管 耐震場所打杭



PAT工法の特徴

①

鋼管が一般材で安価

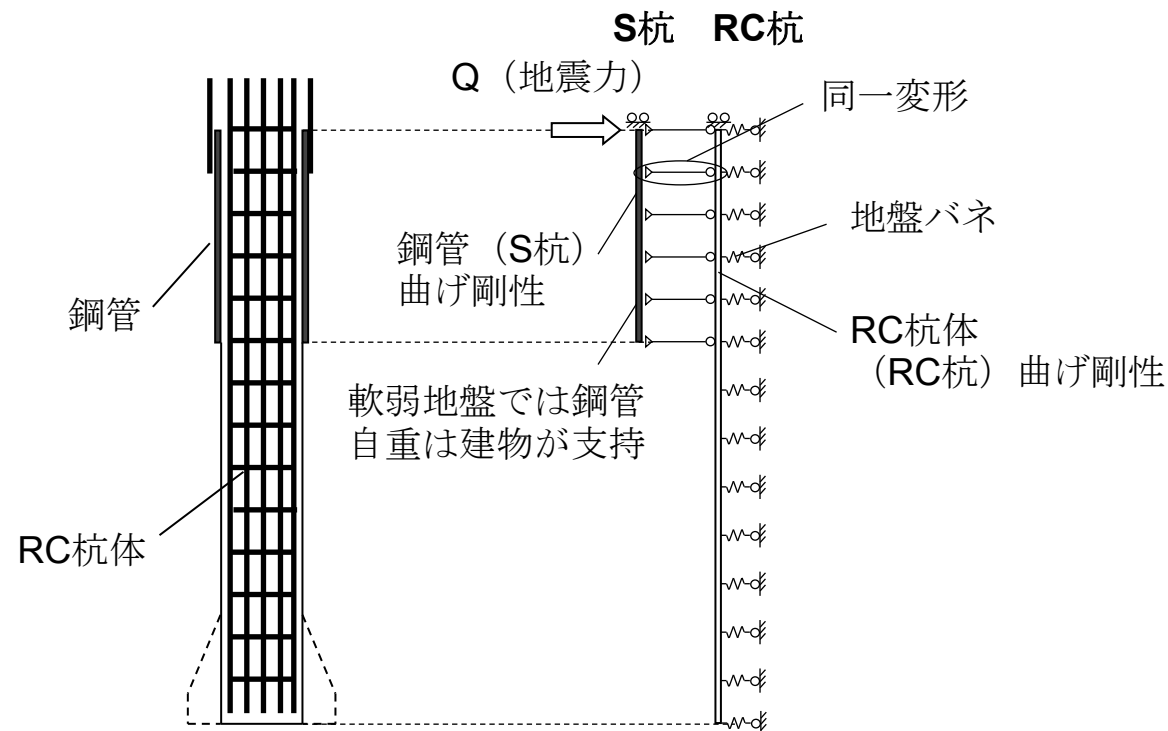
②

水平耐力はこれまでの鋼管現場打ち
コンクリート杭と同等

③

鋼管とコンクリートの付着強度は期待しない工法

PAT工法杭体応力解析モデル



* 上記モデルより、SとRCの分担率は深さ方向に一定ではない

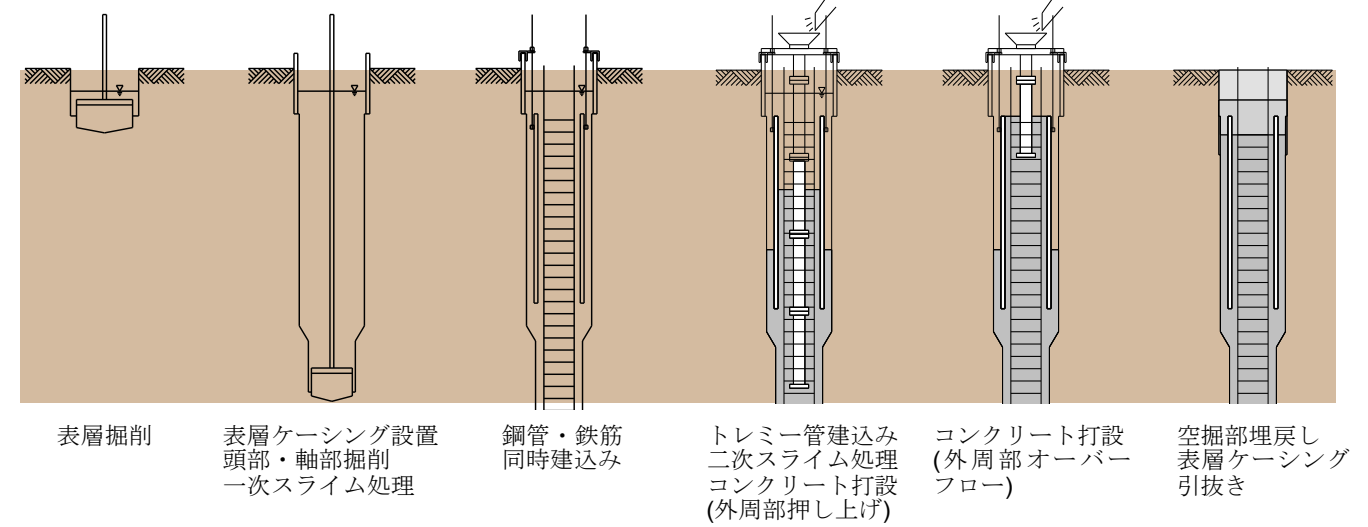
S杭： 鋼管鉄筋コンクリート部の鋼管杭

RC杭： 鋼管鉄筋コンクリート部の鋼管内鉄筋コンクリート杭

PAT工法施工法

鋼管・鉄筋同時建込み工法の施工手順

※杭先端拡底施工については(財)日本建築センターの評定事項に基づき施工する。



認定書

B C J 評定-FD0195-01

評 定 書

ブラン・ドゥ・ソイル株式会社
代表取締役 菊地 祐悦 様
赤井商工株式会社
代表取締役 山崎 渡 様

財団法人 日本建築センター
理事長 立石 真

平成16年8月27日付けで、評定申込みのあった下記の件について、当財団基礎評定委員会（委員長：富永晃司）において慎重審議の結果、平成17年1月26日付け評定報告書（評定番号：B C J 評定-FD0195-01）のとおり、本件は、申込みの範囲において、建築基準法令その他技術的基準等並びに当委員会で定めた基準に照らし、適正なものであると評定します。
なお、本評定書の有効期間は、本評定日より平成22年1月25日までとします。

平成17年1月26日

記

1. 件 名 P A T 工法
2. 評定事項 「P A T 工法」の杭体に関するもので、下記5項目に関する一般評定
 - 1) コンクリートの許容応力度等
 - 2) 本体部の設計
 - 3) 掘削孔および鋼管の寸法・範囲等
 - 4) 鋼管の腐食しる
 - 5) 施工会社（施工管理者）